市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

柱1　効率的な執行体制の構築

施策1−1　人材育成と人材確保

1　職員一人ひとりの能力向上

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
11110	職員の施策立案・事務能力の向上	1　妥当である	4	●取り組み計画にある①研修等内容の検討について触れられておらず、数値目標の達成だけでは妥当とは言えない。 ●若手行員の日々の活動も含め、話している中で実感できている。 ●施策立案能力、事務能力の評価として、研修効果の評価を用いることが妥当かについて疑問がある。 ●研修後のアンケートの回答だけでの評価と思ったので。 ●研修のカリキュラムや進行など（これまでとの変化点なども含む）が不明であり、何が効果的であったか不明。 ●研修の実施内容が曖昧。「政策形成」どのような内容なのか、アンケート結果がよくても、本当に実務に活かすことができているのかどうか本質的な点が問題に感じる。 ●研修の内容がどのようなものか分からない、それが効果があったのか	●そもそも「現状と課題」と実施計画の内容に大きな開きがあるのではないか。飛躍しすぎている。 ●積極的な活動に期待している。 ●「施策立案能力」を定義し、それを直接、本人や周りが評価することも検討できるのではないか。また研修効果を用いるにしても、研修自体が施策立案能力向上に役立つものかについての評価が別途必要ではないか。 ●研修後の政策立案、財務能力の習得状況等、研修後の同僚上司の評価も必要なのではと思いました。 ●そもそも人口維持、または増加のために立案・事務能力の向上などが関連するとは考えにくく、少し強引な施策に感じる。 ●達成状況が目標を上回っているので、新規採用職員の継続的な研修の効果を検証してはどうか。例えば、アンケートで学びたい内容を取り入れるなど。また新規採用職員以外にも政策形成能力の向上も必要ではないか。
		2　分からない	6		
		3　妥当でない	0		
11120	若手職員の活躍推進	1　妥当である	7	●計画そのものの見直しが必要だと思う。 ●活動内容を拝見させて頂く機会があり、活躍を目の当たりにして好感がもてる。 ●特別プロジェクト、本来業務以外の成果のみを評価することに疑問がある。 ●本来の業務以外に組織横断的に活躍できる場とは、本来の業務以外にも仕事をすることになり負担になるのでは？ ●実績としての具体的な取り組みと定量目標に対する結果検証がなされている。 ●成果目標にあげている「加点を受けた割合３%」が妥当かどうかが不明瞭。→プロジェクトリームに参加するだけだけでその加点が受けられるのであれば令和７年度の1.1%は低すぎるのではないか。	●鳥取市の発展のために若手の意見を尊重することと、若手職員に過度の期待をすることとは意味が異なる。やる気のある若手職員を大切に育成することが第一義だろう。 ●継続してもらいたい。 ●若手職員による「本来業務での成果」も評価できるのではないでしょうか。また「上司による加点」でなく、自己申告の評価もできるのではないか。 ●今後、若手の提案の機会を増やしていくことが必要　業務負担が成長の機会を失っていないか ●主体的にチャレンジできる環境づくりを進め、評価制度の趣旨を広く浸透させていってほしい ●「人口減少～」というすぐに結果が出ない壮大なプロジェクトに、本来の業務の量が多い若手は参加したくても出来ないのでは？ ●若者の意見を市政に反映させることが重要」という点は共感できるが、＝若手職員が活躍できる機会と評価には結びつかないように感じる。また、掲げられている課題解決のためには若手にしぼらず３９歳以上の方の積極的な取り組みも必要ではないか？ ●若手プロジェクトチームに参加していない人の加点2名のような人が増えると3%へ近づくと思われるが、その２名のような人から横展開できる要素はないのか。また、本来業務以外の業務への積極的な取り組みができない要因分析も必要ではないか。
		2　分からない	3		
		3　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

2　優秀な人材の確保

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
11210	人材確保に向けた情報発信強化と採用試験の見直し	1　妥当である	8	●色々と工夫されているのを知っているので、今後も継続いただきたい。 ●最終合格者のうち何人が入所したのか不明なため。（試験を早めたので辞退者が多かったのでは？） ●実績としての具体的な取り組みと定量目標に対する結果検証がなされている。 ●鳥取市が足りているなら倍率が高いうちはそこまで力を入れる必要があるのか	●合格倍率の目標をクリアした点では妥当だが、辞退者もふくめた数値目標の設定が必要。20名の内定者のうち、何人採用されたのか。 ●ﾌﾟﾗｯｼｭｱｯﾌﾟの継続希望。 ●引き続き優秀な人材の確保に向けて、採用手法や情報発信の充実に努めて欲しい ●受験者全体に職員受験のきっかけを聞いてみるのは？ （進捗状況の正当性の確認を行う意味で） また、離職防止のために定期的に職員に対し、職場満足度や意見要望などをヒアリングするアンケートの実施などを行ってはどうか
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	1		

施策1-2　組織体制の強化と働き方改革

1　市民ニーズに対応した組織体制づくり

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
12110	市民ニーズに応える地区公民館の推進	1　妥当である	6	●年度途中の委員会で計画を変更したのだから、計画通りとは言えない。それが認められるなら、遅れは発生しなくなる。 ●市民に対しての浸透がいまだ図られていないように感じる。 ●計画どおりモデル地区の指定・運営が進められている ●関係先も多く、影響の大きなテーマであるため、step by stepで推進されている様子がうかがえる。 ●地域防災や福祉が市民に求められているということだが、具体的に市民が求めている内容がわからない。私自身はこの2つのテーマに関して公民館を頼るという発想がない。また、今後も地域住民同士の関りは希薄することが予想されるが、そんな中地区公民館を推進していく必要性自体が疑問。 ●コーディネーターの仕事が分からない	●計画は事前に関係団体などで検討される必要があるのではないか。最初の委員会で変更が生じるようでは、計画の意味がない。 ●情報発信のやり方を工夫してみてはどうか。 ●たくさんある公民館でモデル地区が最終5地区、選定基準はありますか？（田舎とか街中とか年代比率等） ●【前提疑問】施策１－２で取り上げられている「市民ニーズ」とは、どこから出てきた市民ニーズなのか。
		2　分からない	2		
		3　妥当でない	2		
12120	業務の効率化・簡素化の推進	1　妥当である	9	●業務の廃止、見直しの最初の数値目標が、そもそも妥当なのか。 ●日々進化を感じる。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考えるが、右記疑問はあり。	●業務の廃止、見直しの件数を数値目標化することが妥当とは思えない。不要な業務は直ちにやめるべきで、数値目標達成のために事業を廃止することがあってはならない。改善は常に検討すべきで、5年計画にはそぐわないのではないか。 ●DXの多様化とともに、積極的に受け入れているように感じる。 ●業務負担の偏りがないか　適切な人員配置がされているか今後も注意して行っていくことが望ましい ●事業の廃止・縮小や再構築を着実に進め、持続可能な行政運営に向けて検討を続けてほしい。 ●事業内容等不明で、どんな事業を廃止したのか、なぜ今までそれが行われていたのか、急に廃止しても大丈夫だったのか、外部に委託したのか等知りたかったです。 ●効率化対象事業の選定基準を教えてほしい。R8年度　対象20事業で削減額23百万円という規模が、どれほどのものか不明であり、積極的に効率化しなくとも、実施未実施であり、自然消滅的に効率化されたものがどれほどあるのか、ないのか？
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

12130	適切な労務管理による時間外勤務削減	1　妥当である	8	●ﾃﾞｰﾀと実際とのｷｬｯﾌﾟはないのか。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考えるが、右記疑問はあり。 ●そもそも残業が当たり前になっているからノー残業デーという言葉が発生するのであって、人が足りていないのではないか	●ノー残業デーの実施でこれだけの成果がすぐに出るということは、これまでの作業効率がよくなかったともいえるのでは。要検証。 ●部署ごとのバラつきを懸念する。 ●残業時間を減らすことも大切だが業務量の削減を今後とも行っていく必要がある ●時間外勤務の削減と時間外勤務手当の大幅な縮減は高く評価できる。 ●優秀な人材確保のためにも、時間外手当が減ったために手取りが減ることのないようおねがいします。 ●今回は、意識醸成の取り組みがメインと理解したが、例えば、AI活用による効率化など、物理的な仕組みとしての削減策なども、関係担当課の事業と連動させ、検討いただきたい。 ●時間外勤務時間の削減が大幅に進んでおり成果を感じる。一方で、業務に支障が出ていないか働く人、部署の課題はないのか。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	1		
12140	テレワークの導入	1　妥当である	9	●どこまで普及しているのか不明。 ●設定した評価基準を達成しなかったという点に限っては妥当。 ●年度計画に掲げた取り組みが未着手に終わっており、目標達成に向けた進捗管理が十分でない ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●計画そのものがずさん。 ●導入はしているのだろうが、活用している割合はどうなのか。 ●そもそもテレワークが求められているのか、適切なのか、それはどの部署・職能かの整理が必要なように思う。 ●導入できる業務を選定して実施時期を示した方が良い ●アンケート結果については評価根拠が不明確であり、30%という数値のみでは事業効果を適切に判断できない。 ●テレワークを選択したら残業は発生しないのか？ほかに育児等で急に休んだ人がテレワークで仕事…休ませてあげてほしい。 ●事前質問へのご回答で理解しました。 ●出勤時間というのは世の中で最も無駄な時間なのでよりスピードを上げてテレワーク導入を進めていくいくべき。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

２　民間活力による事業推進
施策2-1　民間の創意工夫を活用した事業推進
１　公民連携と外部委託の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
21110	地区公民館の地域運営	１　妥当である	7	●取り組み内容①と②で、それぞれ希望する地区の数は不明なのに、最初に数値目標があるのは分からない。 ●地域が主体となって活動できている。 ●導入を検討する地区が増加している点は評価できる。 ●一括交付金制度の活用地区目標が全61地区の半分の根拠が不明。すべての地区が対象とならない交付金？ ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●希望する、しないの違いは何か。理解不足だけなら、説明が足りないのではないか。 ●次世代に繋げていくことはできるのでしょうか。 ●市民や地域住民に対して制度の目的や効果が十分に理解されているか。公民館の指定管理者制度についても広く市民へ情報発信が必要と思う。 ●事務負担の軽減等活用しかない一括交付金制度を採用しない地区があるのは、周知不足なのか他に問題点があるのか気になった。 ●管理番号12110と類似の疑問（地区公民館のそもそもの必要性）を前提に、市側は公民館の運営を地域に任せたいのか、市が介入して行っていきたいのかが不明。指定管理者を増やしたいのであれば、交付金活用地区を増やすように、それなりの説明や動きが取り組み内容に組み込まれているべきではないかと感じる。 ●自己評価に交付金を活用した地区のその後の検証の必要性が記載されている。この取組を追加してはどうか。またその成果指標として、検証し、課題の整理および改善策をまとめるなどできるのではないか。 ●話は別だが公民館の外部講師を呼ぶ値段が安すぎる。それに回ることはできないのか
		２　分からない	3		
		３　妥当でない	0		
21120	公民連携デスク活用の推進	１　妥当である	9	●内容が明確ではない。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●しっかり検討された取り組みになっていると思う。常に改善しながら頑張ってほしい。 ●内容の明確化が課題。 ●課題をより絞り込まなければ、民間事業者もどのような提案をしたら良いのかわからないのではないか。提案が集まらないのも当然なように思う。 ●提案が実現しなかった理由は？募集条件に改善点はないのか ●周知の強化や制度改善を通じて提案件数と実現件数の増加につなげてほしい。 ●民間目線で言えば、事業の存在を知らない事業者も多いと考えられる。例えば、民間感覚による効率化や新アイデアが、この度の行政改革テーマや社会課題解決に横断的に資することもあると思うので、PR充実を望む。 ●計画にも記載があるが、周知はもちろん、テーマを細かく気軽に簡単に提案できるようにしていくべき。そもそも年間を通じてどのくらいの提案数があるのかが明確になればよいと感じた。提案数が少ないのであれば、提案が実現した際の企業側のメリットなども今後は検討すべき。 ●もう少し民間事業者へのハードルを下げる必要がある
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	0		
21130	指定管理者制度の見直し	１　妥当である	10	●必要な事であり妥当と判断。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●応募が増えない原因を把握しているのか。他地域の工夫などを参考にする必要があると思う。 ●見直しは必要であり、重要。 ●30%に届かなった原因究明はできているのか？ ●事業者が参入をためらう要因をしっかり分析して進めてほしい ●指定管理者の多くが財団や福祉関係やその地区の会社であり、新たな事業者が入る余地がないのでは？ ●応募に至らない理由を事業者にアンケートをしたらどうか。
		２　分からない	0		
		３　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

施策2−2　多様な主体との協働の推進

1　地域との連携、協働のまちづくり

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
22110	地域運営組織との連携	1　妥当である	4	●何を連携しているのか不明。 ●進捗状況に町内会づくり応援チームを設置して加入促進等行ったとあるが、何先に行って何先成果があったのか不明のため。 ●計画と進捗の内容が同等に見え、具体的な取り組みの姿が見えず、判断しづらい。継続的に進捗されていくものかどうかが判断できない。 ●「庁内PTによる施策」に関して目的、内容などが全く不明。 ●アンケート調査を実施したとのことだが、どんな内容のアンケートで結果がわからないため現在の取組み内容が妥当かどうかの判断がしかねる。 ●負担軽減とは具体的に？	●5年間の具体的な目標が不明なのはよくない。 ●内容を明確にしてもらいたい。 ●持続可能な町内会づくり応援チームを設置し、町内会の負担軽減や加入促進に向けた取組を順調に進めていると思う ●町内会というコミュニティはどんどん担い手不足になり、いずれ淘汰されるコミュニティであることは誰もが予想できる未来のため、「町内会を協働のパートナーとするという」概念を見直すべきではないか？ 市民目線だと、町内会が市政運営に与える影響のイメージが全くつかない。 ●取組実績に具体的に記載してほしい。アンケート実施。イベント時のチラシ配布、広報活動で加入促進など。達成状況に①庁内PT1回開催。②施策件数：3件。 ●個別成果指標を加入率および負担軽減率（アンケート）などの数値にするのはどうか。取組内容に③施策の検証・改善も必要に思われる。
		2　分からない	5		
		3　妥当でない	1		
22120	地域学校協働活動の推進	1　妥当である	9	●推進員の配置だけが目標でよいのか。 ●住民のｻﾎﾟｰﾄもあり、よくできていると感じる。 ●関係先も多く、影響の大きなテーマであるが、step by stepで推進されている様子がうかがえる。	●5年間の取り組み内容の②と③は表だけ青いのはなぜか? ●継続希望。 ●推進員の選定の難しさや、地域によっては協力体制などに差があるかもしれないが、子どもたちに必要な支援未配置校への推進員配置を引き続き進めてほしい ●推進員は民間の人や元教員で能力の差があり、活動内容が地区によって大きく違うことはないのか。推進員が設置された学校の活動状況が知りたかった。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		

2　教育機関との連携

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
22210	高等教育機関との連携	1　妥当である	6	●具体的な課題を前提としない、形式的な連携は意味がない。 ●まだ発展途上の段階なのではないか。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考えるが、右記疑問はあり。 ●連携の結果、何がどのようになったのか	●大学が関心を持つのは、研究テーマとなる課題と、それに付随する予算の獲得だけでしかない。 ●今後に期待。 ●両大学とも目標の各1件以上を上回る7事業を実施している。 ●各大学毎年１件以上の連携事業との目標であったが、本来、活動のベースが出来上がり、累積的に実績が上がることが望ましく、毎年3件、5件、、、と目標のハードルを上げてはどうか。 ●達成状況が到達しているため、指標の見直しはどうか。
		2　分からない	3		
		3　妥当でない	1		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

３　自治体広域連携

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
22310	自治体間の広域連携の推進	１　妥当である	8	●とりあえず1。取り組み自体は素晴らしいが、内実のあるものになっているのか、数値だけではよくわからない。 ●目的はすばらしいが、実際どれほどの活動が出来ているのか不明。 ●こういう活動をしていることを知らなかったので市のウェブサイトを確認したが、7年度の活動内容が進捗状況と相違していたため。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●具体的な取り組み実績が示されておらず、任意に設定された数値目標の達成だけでは評価できないのではないか。 ●積極的に行ってもらいたい。 ●連携事業数やKPI達成率だけでなく、自治体間連携による行政運営の効率化など、効果があれば示してほしい。 ●個別成果指標：達成率100%以上の事業数毎年度50%以上とあるが、達成率が100%にならないものや、乖離しているもの課題分析および改善をする指標も必要に感じるがその点はどう考えるか。
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	1		

柱３　公共施設マネジメントの推進

施策3-1　公共施設のファシリティマネジメントの推進

１　FMの推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
31110	再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進	１　妥当である	5	●遂行状況が思わしくない雰囲気がある。 ●目標であるエリアごとの基本方針の作成率100%に対し、現時点の作成率がわからない ●目標に対する実績で見れば妥当と考えるが、WSでの検討内容が示されておらず、それが施設統廃合という大目標に対し、近づいたのか、そうでないのかも不明。また、右記疑問もあり。 ●ワークショップを実施したとのことですが、どんなテーマで誰を対象に実施したのかが不明。またどんな意見がでて、今後の取り組みにくみこんでいくのかが次年度の計画に記載がないため、不明。 ●ワークショップの内容は？	●必要性だけでなく、維持・管理の仕方をセットで、各地区の検討を行ってもらいたい。 ●積極的に行ってもらいたい。 ●3地区程度のWSで、将来、いつになれば、全域における在り方検討がなされるか疑問であり、長期ロードマップを示されたい。 ●「次世代に負担を先送りにしない効率的な施設のあり方を検討する」とのことですが、どこからを「次世代」と設定するのかが曖昧。 ●老朽化が進んでいる施設に関して、いつ・どのくらいのエリアで改修が必要になるのかを明確化し、計画に取り入れていくべき。 ●個別成果指標は①基本方針の作成率：100%に加えて②ワークショップなどの開催（全●エリア）の指標があると進捗評価がしやすい。達成状況は対象エリアの○%などと記載されるとイメージしやすい。 ●取組内容に③関連部との横断的な連携が必要に思われる。再配置基本計画の対象施設は様々な部署に関連があり、総合的な調整が必要だと考える。（学校施設など）
		２　分からない	5		
		３　妥当でない	0		
31120	公共施設譲渡の推進、市有財産譲渡の推進	１　妥当である	8	●必要な事だが、ｽﾋﾟｰﾄﾞ感がない。 ●8年度以降は本格的にとあるが、7年度の譲渡対象施設の譲渡数が10施設で、少ないのではと感じた。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●5年間の取り組みに限らず、恒常的な取り組みとしてはどうか。 ●積極的な実践に期待。 ●効果額（譲渡・廃止の評価額が記載できるのではないか。）
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	1		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

２　施設の活用

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
31210	民間資源の活用	１　妥当である	9	●どこまで行っているのか不明。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。	●現状で93%の学校は自校のプールを利用可能なのに、5年間で積極的に半減させる必要性が理解できない。外部委託の負担を無理やり増やすことにならないか。 ●取組施策を見直し、ｽﾋﾟｰﾄﾞ感をもって活動してもらいたい。 ●市民サービスの質の維持、雇用の安定も考えてほしい ●達成状況に使用率に加えて、（54施設/57施設：学校施設利用）というように実際の件数も併記してほしい。割合だけでなく件数も記載してあると、進捗状況などと比較しやすい
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	0		
31220	市有財産の利活用	１　妥当である	7	●一生懸命を行っているのは把握しているが、課題も山積。 ●自己評価に「目標金額は下回ったが目標件数は上回った」とあるが、安くで販売されたということ？金額の設定基準は？	●しっかり取り組むべき内容である。 ●維持管理費の削減額などもあるといいと思う ●成果目標金額と実績金額の差が激しく、何を売るつもりでその金額を設定したのか気になった。 ●未利用財産の売却はとてもよい取組だと感じる。売却件数が予定より多く売却できているため、個別成果指標を見直しても良いのではないか。
		２　分からない	3	●目標に対する実績で見れば妥当と考える。 ●成果目標に設定されている売却件数が「15件」とのことだが、全体の何%なのか不明のため、評価ができない。（私有財産の未利用財産がどの程度あるのか）	
		３　妥当でない	0	●車両等の物品をインターネット公売をしたとのことだが、インターネットの公開の反応がどうだったか、ニーズの有無が不明なためこのままの取組み内容でいいのか判断しかねる。	

柱４　スマート自治体の実現

施策4-1　行政事務のデジタル化

１　行政のデジタル化の推進

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
41110	庁内ゼロペーパーの推進	１　妥当である	9	●進捗はいかがなものかと感じるが、大切な事。 ●目標に対する実績で見れば妥当と考える。 ●実施期間中の成果目標が「印刷経費30%減」とのことだが、令和7年度の取り組みによって何%削減できたのかが不明。	●5年間もかけずに、3年程度で大胆に切り替えることは可能ではないか。スピード感が必要。 ●継続希望。 ●ペーパーレス、電子化が異様なスピードですすんでいる時代の中、5年間をかけて30%削減させる成果目標が最適なのかが疑問。 ●よりスピードを上げていくべき
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

２　業務の効率化

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
41210	ICTツールを活用した業務の効率化	１　妥当である	7	●ICTツールは年々技術開発が進んでいるので、5年計画にせず恒常的な取り組みとして行う必要があるため。本計画は不要。 ●取組内容を把握しているので、継続してもらいたい。 ●RPA, AI-OCRの意味が分かりません。また評価基準の根拠も分かりません。 ●今は削減時間で目標管理されているが、これだと、それがどれだけインパクトがある効果なのか不明なため、例えば、全職員、全部局における導入率、浸透率のようなものも目標として追加してはどうか。全体の中でどれだけ推進がなされているのか、の把握。	●継続希望。 ●業務負担軽減や市民サービス向上につながっているのか確認して進めていく必要がある ●市民サービスの向上効果も検証してほしい
		２　分からない	2		
		３　妥当でない	1		
41220	地区公民館のLGWAN環境等の充実	１　妥当である	9	●進捗状況が不明。 ●運用菓子に向け、体制構築を完了している	●本来、本実施計画に取り上げるべき課題ではないのではないか。 ●わかりやすく伝えてもらいたい。 ●3年かけて実施しなくても、1年で公民館職員にシステム利用してもらえそうなんですが。 ●各公民館での支払いの状況をモニタリングする仕組みを教えてください。 最近、県内でも町立の美術館やバス会社などで不正会計の話題もありますので。
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	0		
41230	キャッシュレス化への対応	１　妥当である	9	●必要な事象であり、さらなる進化に期待。 ●市民の利便性の観点は理解しますが、市側の効率化効果（現金出納業務削減など）での検証が、今回の行財政改革、という全体趣旨に合致するのでは。	●キャッシュレス化は世界的な流れであり、改めてﾆｰｽﾞ調査などの手間を増やす必要はない。利用するかしないかは、選択肢だけ残せば済む話。 ●継続希望。 ●現金を扱うリスクを考えればキャッシュレスは必要である ●個別成果指標：決済可能窓口の拡充とあるが、未導入窓口の総数に対してどれくらいの導入が目標か数値化したほうが進捗管理がしやすいと考える。 ●よりスピードを上げていくべき
		２　分からない	1		
		３　妥当でない	0		
41240	行政キオスク端末（証明書発行端末）の導入	１　妥当である	8	●元々の成果目標の設定値が低すぎる。こんな目標値なら何もしなくても達成できたのではないか。 ●内容がいまいち把握できていない。	●発信の仕方に問題があるのではないか。 ●今後も利用促進につなげてほしい ●シニア層を中心に、「使わず嫌い」が想定される。鳥取市広報（CATVなど）での動画での操作紹介なども検討してはどうか。 ●達成状況が順調なため、個別成果指標の見直しをしてはどうか。
		２　分からない	2		
		３　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

3　行政の透明性、広報戦略

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
41310	デジタル広報媒体の活用拡大	1　妥当である	7	●積極的な取組に感謝。 ●実績にSNS登録者数の増加があったとあるが、ただ増加することが目標だったのか、何%増等目標数字がなく、自然増と感じた。 ●成果目標に掲げている「SNSフォロワー7万人」の基準が不明。 ●近年のフォロワー数増減が不明（増加が図られたとのことだが、昨年からどのくらい増加したのか不明）	●自治体の広報は、媒体の問題ではなく、市がどのような取り組みを行っているかが重要で、市民が関心を持つ背策・情報には、市民は進んで情報にアプローチするが、現状ではその魅力に乏しいのではないか。 ●継続希望。 ●デジタルツールのPRなども行って利用促進していく必要がある。 ●今後は登録者数だけでなく、情報の閲覧状況や、市政への関心・行動につながった効果も調査できれば。 ●鳥取県のVIVANT便乗などは、過度かもしれないが、時流や時事の話題に乗ったPRも試行てみてはどうか。 ●そもそも誰に対しての情報発信で、どんな目的があるのかを計画内容に明確に記載すべき。ターゲットなどによっては投稿内容などの見直しも検討すべきと感じた。（例：“市政情報の広報を行う必要がある”と現状と課題に記載があるが、Instagramを拝見すると、更新頻度が低く市内の観光スポットの紹介の投稿がほとんどで、誰に対して何を発信していきたいのかが不明だなと感じた） ●・登録者数約70,000人を達成できているため、目標数値を変更してはどうか。 ・SNSの広報戦略の策定はロードマップのような位置づけであると考える。成果目標に広報戦略の策定も追加してはどうか。 ・各SNSのおける利用属性や割合、各SNS媒体の登録者数内訳も知りたい。備考欄に記載できないか。（81,466人はどの数値か） ・各SNS媒体の利用費用や広報に対する効果も算出することができないか。アンケート回収率やその他周知に効果が見られるなど。それらの情報から広報戦略が策定できると考える。 ●よりスピードを上げていくべき
		2　分からない	2		
		3　妥当でない	1		

4　市民サービスの向上

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
41410	ICTツールを活用した市民の利便性向上	1　妥当である	6	●取組内容では、③と④も計画にあるが、取り組んでいない。 ●利便性は日々高まっている。 ●評価基準の根拠が分からない。 ●当初計画を上回って進んでいる	●計画の立て方がずさん。戦略的に取り組むべし。 ●さらなる高みを目指して努力いただきたい。 ●デジタル機器を利用できない避難者への対応もお願いしたい
		2　分からない	2	●これも実績の積み上げだと、どれだけのインパクトがある効果なのか不明なため、 全体の申請総数と、そのうち、何%のオンライン化を目指すという目標設定と管理ができないか。 ●取り組み内容としては概ね問題ないように感じるが、1年で進捗率80%以上というのはそもそもの成果目標の数値が適切か疑問に感じる。また、オンライン申請件数6万6000件が多いのかすくないのか、判断する基準がわかりづらい。	
		3　妥当でない	2	●自己評価に③本庁等と支所等をつなぐオンライン相談窓口の設置検討について記載がない。そのため、AではなくBが妥当と判断した。	

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

41420	避難所運営のDX化	1　妥当である	9	●さらに拍車をかけて活動して欲しい。 ●自己評価に当初の計画を上回って推移している。と記載しているが、地域住民への周知と連携について課題が残っている点を踏まえると、Bが妥当ではないか。	●この4年間にも何が起きるかわからないので、A評価ならさらに前倒し実施を検討されたい。 ●継続希望。 ●災害時は市職員も避難者になる可能性もあり、他の市町村職員の応援も考えられる。他市町村共通のシステムなら応援職員がスムーズに対応できると思った。 ●デジタル化は必要条件に考えるが、仮にインフラが復旧していない場合の対応も必要と思われる。その点も考慮したDX化なのか。
		2　分からない	0		
		3　妥当でない	1		
施策4-2　再生可能な資源の有効活用					
1 GX、SDGs					
管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
42110	公共施設の再生可能エネルギーの活用及び省エネルギー対策	1　妥当である	5	●温暖化対策は庁舎内の取り組みだけでは不十分ではないか。もっと大胆な取り組みが必要。 ●難しい取組内容ではあるが、今後の必要性は高いので、ﾋﾟｯﾁを上げてもらいたい。 ●整備は進められているが、算定方法や削減目標も変更されており、目標達成に向けた進捗を判断しにくいため。 ●R11年の排出量が途方もない数値で、太陽電池設置で達成できるのか不明。 ●未だ実用性・汎用性の乏しいペロブスカイト電池導入の妥当性は再検証すべき。実用性・汎用性が増し、導入コストも軽減される時機まで待ってはどうか。	●例えば、会議打ち合わせなどで毎回大学に来られるが、30分の打ち合わせはオンラインで可能。往復のクルマ利用と時間の節約が可能になる。 ●今後に期待。 ●ペロブスカイト太陽電池導入を検証し、見送る判断をして頂けたことは良い決断に感じた。 　第4期鳥取市地球温暖化対策実行計画の削減目標の数値を見直したほうが良いのではないか。省エネ機器の導入も必要だが、公共施設の再配置や統廃合が進めば、温室効果ガスの排出も削減する可能性もあるのではないか。再生可能エネルギーの活用以外に減らすこともできると考える。
		2　分からない	5		
		3　妥当でない	0		
42120	不要品の販売（大型ごみ、不要備品）	1　妥当である	9	●行政が関わることで信頼感を増す。 ●民間事業者2社が対応する不用品は大型ごみでも重量は軽い物と思われるので、10%削減目標は別で考えるべきでは？	●さらに高い目標値を設定して、取り組まれたい。 ●継続希望。 ●リユース事業の認知度はどれくらいか？ ●ごみの排出量削減効果を引き続き検証してほしい ●とても良い取組だと感じる。 ●不用品の販売・譲渡で効果額が算出されると考えるがどうか。大型ごみ受付センターの一元化で受付件数が伸びた背景から、ごみの削減目標を一元化後の排出量をもとに見直したほうが、成果指標として達成しやすいのではないか。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		
42130	森林由来J-クレジットの創出・活用の検討	1　妥当である	8	●具体的に何をどう取り組んだのか、よくわからないので判断できない。 ●ﾆｰｽﾞは高いが、活動のﾊｰﾄﾞﾙも高く、困難な状況。	●小手先の数合わせでは、温暖化は改善できない。 ●積極的な活動に期待。 ●事業体にどのように働きかけをしていくのか ●効果や事業手法が難しいものであると思うが可能性をひく続き検討してほしい ●森林面積の減少がわかったとあるが、Jクレジットに取り組む前に調査するべきだったのでは？市の収益となる購入予定の事業所があったのか？ ●対象森林面積の減少の要因はなにか。今後も減少する可能性があるならば、それを想定した方針にしてほしい。 ●そもそも根本から考え直す必要がある
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	1		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

柱5　エビデンスに基づく行財政経営
施策5-1　効果検証に基づく政策判断
1　効果検証に基づく政策判断

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
51110	EBPMに基づく選択と集中の予算編成	1　妥当である	9	●内容が明確ではない。	●このような取り組みは当然のことだと思っていた。いまさら5年計画にする必要はないのではないか。 ●わかりにくく感じる。 ●公共施設数の適正化をどのように進めていくのか？ ●事業効果の検証に基づき、市の将来を見据えた効果的な予算編成を進めてほしい ●EBPM自体は理解するが、エビデンスによらない判断（政治的、行政的英断）やエビデンスから多少外れるが承認（余白）するケースが存在するなら、その基準を定めるべき。 ●進捗状況に新規・拡充37事業とあるが、一方で廃止・縮小した件数も記載してほしい。この数値があれば、効果額が算出できるのではないか。この数値が財政健全に求められる定量的データだと考える。5年間の累計がその5年後の計画に参考数値となるのではないか。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		
51120	行政経営システムの導入	1　妥当である	3	●5年間の取り組みが連携の強化では評価のしようがないのでは。 ●内容が明確ではない。 ●今まで企画・財政・人事担当部署の連携強化をしてこなかった？これまでは別々でされていた？ ●3部門連携の具体策は？、情報共有？共同ヒアリング？、従って、その妥当性が分かりかねる。 ●取組計画の記載がシンプルすぎて、進捗との比較ができない。各部局経営方針ヒアリングの実施とあるが、全体のセクション中どのくらいのセクションにヒアリングしたかが不明で全体像が判断できない。課長ヒアリング85名、部長ヒアリング28名とあるが、この数値ではなく、各部局ヒアリングが必要な件数を提示してほしい。その内●部局ヒアリング（課長ヒアリング85名、部長ヒアリング28名）だとヒアリング状況の進捗が判断しやすい。 ●連携をしたから何がどうなったのか分からない	●このような取り組みは当然のこと。5年計画にする必要はない。 ●導入のﾒﾘｯﾄを明確に伝えてみてはどうか。 ●人の県外流出に対してどのように取り組んでいくのか ●質問票に記載の通り、目標を数値で示すことができない施策についての評価の妥当性を判断するのが困難。また、本施策については現状と課題についても抽象的すぎる印象。施策として設定するのであれば何かしらの数値目標を設定すべき。 ●連携強化が功を奏したのかを、各部局経営ヒアリングの対象者にアンケートを実施してはどうか。それを踏まえて、取り組み内容に②検証、改善を追加し、5年間の取り組みを進捗管理してはどうか。
		2　分からない	6		
		3　妥当でない	1		
51130	オープンデータの活用	1　妥当である	6	●使いこなせていないように感じる。 ●成果目標が%で記載されており、進捗状況が件数のため、妥当性の判断ができない。現状何%公開ができていて、5年後に100%を目指しているのか明確に記載すべき。 ●個別成果指標は国が示す行政情報の推奨形式での公開：100%とあるが、現状何%かわからない。また、R7年の目標等が何%かの判断ができずに進捗評価に判断に悩む。今回の個別成果指標の達成状況は12件と件数になっており、%と件数では比較ができない。記載を合わせてほしい。 ●国が示すものがなぜすぐにできないのか	●長年てこずっている課題だと思われる。作業の外部委託なども考えてはどうか。 ●必要な事ではあるので、今後に期待。 ●市民や事業者のニーズを把握して、拡充を進めてほしい ●備考欄に総合型GISの説明を入れてほしい。
		2　分からない	3		
		3　妥当でない	1		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

施策　５－２健全な財政基盤の確立

１　歳入の確保

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
52110	基金運用の最適化	１　妥当である	7	●何を持って最適と判断するのか不明。 ●効果額の差が大きいのは定期預金中心だったからか？ ●現在の運用利率、他エリアとの比較などの情報がないため、判断ができない。また、どの程度の増加を目指した検討を行っているのかなど明確にすべき。	●5年間で何かを達成しようとする取り組みではないので、計画からの除外が適当である。 ●具体策が欲しい。 ●国債利回りも高水準になる局面もあり、適宜、適正に運用されるべき。奇策はないのでは。 ●達成状況に見積合わせR7　1回とあるが、年3回のとこと、2回は新規購入及び債券の入れ替えは行っていないと判断したが、（残り2回の実施しなかった理由を記載）したほうが判断及び記録としてわかりやすいと感じる。 ●備考欄に公金管理委員会の説明を記載してほしい。 ●債券運用のメリットを享受するために、より効率的な運用方法の選択を取組内容に記載されているが、具体的な事例を取組内容に記載してほしい。また、他自治体がどのように運用しているかは調査等はしないのか。 ●効果額が成果目標の約62%に迫る。この数値から成果目標の見直しはしないのか。 ●金融市場は明確に先が分かるものではないため難しいところもあるので仕方のないところもある
		２　分からない	3		
		３　妥当でない	0		
52120	未収金の削減	１　妥当である	10	●積極的に活動できている。	●通常業務であり、改善を目指す取り組みではないので、計画から除外されたい。 ●継続希望。 ●目標額を大きく上回る回収実績は高く評価できる ●債権額の何%を債権放棄しているのか。回収も多いが放棄も多いのでは？ ●法的な拘束力・強制力を持たせることができなければ、民間委託の様な形態はとれないか。 ●・達成率が40.6%あるため、成果目標の変更をしてはどうか。 ・取組内容に②債権回収に係る職員の研修や理解力の向上。③債権所管課へのヒアリング（伴走支援）を追加してはどうか。明らかに達成率上昇に貢献していると考える。
		２　分からない	0		
		３　妥当でない	0		
52130	市県民税に係る課税ベースの拡大（個人住民税）	１　妥当である	10	●積極的に活動できている。	●通常業務であり、改善を目指す取り組みではないので、計画から除外されたい。 ●物価高などの市場情勢に対応すべく必要。 ●一部未着手の調査はあるが、成果が認められる ●個人事業主の給与支払いの把握が手つかずですが、事業所の調査と一緒に活動は出来ないですか？ ●進捗状況の②調査対象の抽出が難しいとあるが、その理由は何か。解決する理由か。
		２　分からない	0		
		３　妥当でない	0		
52140	市県民税に係る課税ベースの拡大（法人市民税）	１　妥当である	10	●積極的に活動できている。	●通常業務であり、改善を目指す取り組みではないので、計画から除外されたい。 ●物価高などの市場情勢に対応すべく必要。 ●前年度を上回った点は評価できる。新たな調査情報や手法の活用を検討してほしい。 ●達成状況に19%も記載してほしい。判断しやすい。
		２　分からない	0		
		３　妥当でない	0		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

52150	固定資産税（償却資産）課税客体の正確な補足	1　妥当である	10	●積極的に活動できている。	●通常業務であり、改善を目指す取り組みではないので、計画から除外されたい。 ●物価高などの市場情勢に対応すべく必要。 ●着実に実施している。 ●達成状況の記載が分かりやすい。計画を上回って推移しており、成果目標を変更してはどうか。
		2　分からない	0		
		3　妥当でない	0		
52160	ふるさと納税の推進	1　妥当である	9	●何が目標なのか不明瞭で、何を自己評価したのかもわからない ●積極的に活動できている。	●外部委託の経費を記してほしい ●世間に認知度が普及している現代だからこそ、さらなる高みを目指して努力してほしい。 ●委託先の外部（業者？）による成果が不十分であったことも目標未達の要因ではないか。であれば委託先の管理強化が必要なように思う。 ●委託費を含めた費用対効果や各施策の寄附増加への効果を検証し、寄附獲得につなげてほしい。 ●外部委託したことで職員の負担が減ったが、返礼品が他市町村と比較され埋没して寄付額が減ったのか？ ●・達成状況に前年度比1.12倍の寄付金額の増加を目指すとあるので、①その数値からマイナスいくらか、プラスいくらかと②5年間の目標数値から比較してどの割合かわかるように記載してほしい。判断しやすい。 ●ふるさと納税は、委託手数料や返礼品等の兼ね合いで実利が寄付額に比べて小さいと思われる。寄付額もインパクトで重要かもしれないが、実利ベースも指標に入れてはどうか。 ●ふるさと納税は全国で行われているものなので、ただ単に事業者を、増やすのではなく他との差別化を計る必要がある
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		
52170	広告事業のさらなる拡大	1　妥当である	8	●積極的に活動できている。 ●財源がくるしい状況、また今後も財源確保が困難なことは目に見えているはずなのでもっと積極的に企業側に働きかける内容のように感じた。また、各課の重要性の認識が薄いことも問題に感じた。各課への支援とは具体的にどういう内容なにか。必要性の認識が薄い原因などを洗い出し、そこに対する具体的な取り組みの記載が必要と感じる。市公式HPも確認したが、広告イメージなどもあったほうがわかりやすいと感じた。 ●ブルーオーシャンなのでより多くの広告を考える必要がある	●効果額の少ない事業にマンパワーを割くだけの意義と効果があるのか、再検討してはどうか。 ●継続希望。 ●情報発信の充実は評価できる。ネーミングライツについても具体的な検討を進めてほしい。 ●7年度はネーミングライツの検討はされなかったということですか？施設以外のネーミングライツが見つからなかった？ ●広告掲載料に幅を持たせ、「深く狭く」から「広く浅く」として、幅広く市政参画意識を持っていただくのがよいのでは。 ●左記同様 ●・成果目標で新たな広告事業の導入：2件とあるが、すでに1件達成しているため、成果目標を変更してはどうか。
		2　分からない	0		
		3　妥当でない	2		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

2　受益と負担の適正化

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
52210	使用料・手数料の見直しのルールづくり	1　妥当である	7	●情勢に合わせた対応は必須。 ●H25年から消費税以外の使用料等の見直しが行われておらず、条例の改正も必要なのにこのスピード感でいいのかと気になった。 ●ルールの具体性が見えないと判断しかねる。例示でもあれば。 ●平成17年から見直し方針を策定している点を踏まえると進捗は計画より遅れているという判断に近いと感じたため。	●積極的に活動できている。 ●市民への影響を検証し、算定根拠を分かりやすく説明しながら見直しを進めてほしい。 ●R5年に更新費用の算出もされており、1年遅れるごとに増額予定分の収益が得られないのは問題なのでは。 ●「受益と負担の公平性の確保を目指す」と記載がありましたが、どのように判断するのかが不明。 ●個別成果指標において、新方針に沿って改定の方向性を締める使用料・手数料：100%とあるが、この100%はなにを示すのかわからない。
		2　分からない	2		
		3　妥当でない	1		

3　歳出の削減

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
52310	補助金等適正化の推進	1　妥当である	8	●内容が不明であり、判断しづらい。 ●4原則が誰にとって公平なのか。例えば極端な話、文化芸術なんてものは無くても人間の生活には困らない。しかし補助金を出さないかというとありえない話で、文化芸術は人間の豊かな生活には必要がある。しかし文化芸術の費用は分野によってマチマチでどの額が公平かは判断が難しいので慎重に検討する必要がある	●適合率が極めて低い現状を直ちに改善するための対策を支給検討し、R8での100%達成をされたい。 ●明確化希望。 ●補助金カルテの公開はすごくいい取組であり、今後も継続してほしい。 ●補助金カルテの作成は第三者ですか？補助金担当課？ ●達成状況が90%に対して69.7%であるが、R8年の目標の見直しはしなくてよいか？ ●補助金カルテにて不適合の場合、補助金制度の廃止、見直しとあるが、廃止した件数、見直しした件数は指標にしない理由はなにか。廃止した場合はその金額が財政の効果額になるのではないのか。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	1		
52320	計画的な公共事業の推進と中長期での市債残高の適正管理	1　妥当である	9	●内容は高度であるが、出来ていると感じる。 ●現在の公債費用を圧迫している原因が不明瞭のため、課題解決のための取り組みに「公共施設の再配置」とあるが取り組みとして最適化どうかが不明。	●通常業務であり、改善を目指す取り組みではないので、計画から除外されたい。 ●継続希望。 ●市債は財政担保の手立てであり、まずは、PTなどで公共施設の在り方を十分論議いただきたい。 ●公共施設のワークショップには教育施設（学校等）もはいっているのか。それらもこのPT会議で議論されるのか。
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	0		
52330	庁内備品の共同利用	1　妥当である	7	●このような業務が進まない理由が理解できず、判断できない ●何をどのようにするのか、不明。 ●計画していた共有備品の洗い出し、リストの掲載、共同利用プラットフォームの検討がいずれも未着手	●計画から除外してはどうか。 ●明確化希望。 ●課題は理解しますが、共同利用の仕組みづくりと運営はかなり手間（コスト）がかかるように思う。この課題はそもそもそれだけのコストをかけるほどの意義があるものなのか。 ●難しいことではないように思う。共有可能な備品の確認とリスト公開を早期に進めてほしい。 ●備品は総務等が一元管理せず、各課が管理して貸し借りし、備品が壊れたらまた持っていた課が購入するということ？各課のフロアに保管？備品って財産なのでは？ ●庁内備品の共同利用は良い取組だと感じる。整備および利用の促進以外にも、物品購入前に共同利用から探す、購入したら共同利用するものは管理リストに追加するなどのマニュアルも必要に感じる。それらも取組内容に網羅しているのか。 ●共有するのがそんなに難しい時間のかかることか疑問
		2　分からない	1		
		3　妥当でない	2		

市政改革プラン実施計画　二次評価シート　【担当課自己評価】A：計画を上回っている、B：概ね計画通り、C：計画より遅れている、D：未着手

※赤字で表記している質問・疑問は、資料２で回答を示しています。

施策5-3　公営企業・外郭団体の健全経営

1　公営企業・外郭団体の健全経営

管理番号	実施計画名	担当課の自己評価の妥当性		妥当性の判断の理由	計画についてのご意見（気づいたこと・課題に感じたこと）
53110	外郭団体の経営健全化	1　妥当である	7	●マンネリ化していて、妥当ではない。 ●なぜ1年延期になったのか。今後事業の縮小が見込まれる団体が指定管理者なのも納得いかない。 ●全体像が見えなく、どれだけの総数があり、何年かけて、どう整理するのか、などのマイルストーンが必要では。	●積極的な活動を希望。 ●課題の重要さを踏まえれば、対象団体との情報共有だけでなく、対策案の検討が必要であるように思う。 ●個別成果指標は㈱ふるさと鹿野と鳥取市教育福祉振興会の2件のみと判断してよいのか、記載からは読み取りにくい。
		2　分からない	2		
		3　妥当でない	1		
53120	鳥取市土地開発公社所有財産の利活用	1　妥当である	6	●積極的に活動できている。 ●保有については広さと金額だが、売却が件数で理解が出来ない。 ●土地保有に要するコスト（維持費用、税金？）はいか程か？　その程度によっては課題の優先順位を上げるべき。 ●この課題の原因が不明。 原因を取り除く計画内容になっていないため、取り組み内容・その評価の妥当性を判断するのが困難。 ●明らかに売却に至った件数が少なすぎる	●人口減少で、空き地などが市内で増加している状況下で、単に売却を進めて保有面積を減らせばよいと考えるだけでなく、積極的に活用する方策も検討されたい。 ●継続希望。 ●土地の特性に応じた売却や有効活用につなげてほしい。 ●左記同様。 ●個別成果指標が2割削減と記載があるが、面積でも表示してほしい。達成状況と比較しやすい。および、成果目標に比べてどのくらいの割合かも記載してほしい。また、効果額も売却など費用で算出可能ではないか ●備考欄に鳥取市土地開発公社の説明を記載してほしい。
		2　分からない	3		
		3　妥当でない	1		
53130	病院事業の経営健全化（収益的収支の黒字化）	1　妥当である	8	●改善策が不明。 ●目標の100%以上を下回っているため	●長年の課題であり、一足飛びに黒字化は難しいのではないか。黒字化に結び付く病院機能の充実を、一つずつ積み上げねような目標設定にしないと、黒字化だけが目標では行き詰まると思われる。 ●明確化希望。 ●課題は大きく深刻ななかで、前進的な取り組みでは難しいように思います。病院経営コンサルの活用などの検討余地があるように思います。 ●医療の質と人材確保に留意しながら経営健全化を進めていくことが必要 ●具体的な改善策を進めてほしい。 ●他院より優位性のある診療科の広報とあるが、それは何か。また開業医からの紹介とはどのように促進するのか。 ●病院という施設の特性上大々的に宣伝も難しいのだろうが考える必要がある
		2　分からない	2		
		3　妥当でない	0		
53140	水道施設の耐震化の推進と経営の効率化	1　妥当である	10	●積極的に活動できている。	●継続希望。
		2　分からない	0		
		3　妥当でない	0		
53150	下水道等事業の経営健全化（重点施策の着実な実施と経営基盤の強化）	1　妥当である	9	●実施状況が不明。	●事業経営戦略による特徴的な具体的な取り組みの例なども挙げてほしい。 ●社会問題にまで発展しており、今後の活動に注目している。 ●経費回収率100%の目標達成したが、未達であったときがあったのか。達成が続いているのであれば値上げは不要なのでは？
		2　分からない	0		
		3　妥当でない	1		